



「住んでよかった」と思える **みよし市** を目指します！

わたなべいくお

くらしの相談

担当者レポート No.40

笑顔がいっぱい！みよし



発行日：令和 7 年 4 月 18 日

発行所：トヨタ自動車労働組合

発行人：近藤 大輔

編集者：渡邊 郁夫

印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

わたなべいくお の主な取り組み

くらしの相談対応事例

ここが
ポイント

住宅環境の適切な整備をしました



(ご要望) 下山工場西通用門前・正門前接続道路部交差点付近（市道神明東山ノ越線）の路面がわだち・段差により雨天時水撥ねが発生。車両通行時、通行人に雨水がかかったり車が跳ねるため道路補修をして欲しい。



(ご回答) 市道神明東山ノ越線における2箇所のわだち・凹みが発生。地元打越行政区からも要望書を提出していただき予算を確保・修繕しました。

相談場所



①対応前



わだちで
水撥ね発生

①対応後



道路修繕実施

②対応前



凹み段差発生



道路修繕実施

古澤下山支部長

ここが
ポイント

安全な道路環境整備をしました



(ご要望) 市道三好丘駒場線（桜 5 丁目交差点）において朝通勤時間帯に横断者（散歩者・児童生徒など）が多く交差点を右折できず渋滞が発生。



(ご回答) 以前から住民などから通勤時の苦情を聞いており、桜行政区からの要望書も提出されみよし市から豊田警察署から愛知県公安委員会へ設置要望が提出されていました。こうした背景もあり検討の結果、時差式・押しボタン式歩者分離信号機に変更されました。

相談場所



対応前



・通学時間帯交差点で右折できない
・酷い渋滞が発生する

対応後



時差式・押しボタン式歩者分離信号
に変更されました

時差・歩者分離式信号へ変更

ソフトコーン設置

令和7年度主な新規事業

ここがポイント

会派政策要望等活動で事業が実現しました

燃料電池自動車トラック導入促進事業

- 燃料電池自動車トラックを導入し県の「先進環境対応自動車導入促進費補助金」交付を対象に自己負担の一部を補助



出典トヨタ自動 HP

スマート農業導入促進事業

- スマート農業の普及促進のためスマート農業機器の導入費用の一部を助成



こども会議開催事業

- こどもが意見表明できる環境を整備
- こどもの意見を施策に反映
- こどもの意見を聴くため小中高生を対象に会議を開催



継続 宅配ボックス設置費補助事業

- 戸建て住宅への宅配ボックスの設置を補助
- 補助対象経費の2分の1(上限1万5千円)
- 再配達に係る配達事業者の負担低減
- 配達車両から排出される二酸化炭素排出量削減



城山保育園移転新築事業

- 令和8年4月開園に向け新園舎の建築及び駐車場の整備。保育園周辺の安全対策を図るため歩道及び横断歩道設置に伴う工事を実施



おでかけタクシー運行事業

- 空きタクシーを活用し定額運賃でバス利用困難者のデマンド型の移動サービスを実施
- 対象者：①65歳以上の高齢者②障がい者③要介護・要支援認定者④妊産婦（妊娠中又は出産後一年以内の人）
- 運航エリア：市内全域及び豊田厚生病院 料金：300円



剪定枝粉碎機購入事業

- 剪定枝粉碎機を3台購入し市民に剪定枝粉碎機の貸出しを実施。リサイクルの高揚とごみの排出量の軽減を目指す

男性 HPV ワクチン接種費用助成事業

- 小学校6年生から高校1年生相当の男性を対象に HPV ワクチン接種費用の一部を助成
- 接種1回あたり上限 16,841円（3回まで）



議員としての取組み

ここがポイント

市民の関心の高い事柄について質問しました

「火葬場の整備について」「職場のハラスメント防止について」一般質問しました。

質問要旨 これまで本市は55年間に渡り安心して豊田市の古瀬間聖苑で火葬を行ってきました。火葬場は、人生の終焉(しゅうえん)において厳粛に最後のお別れをする場所として誰もが世話になる必要不可欠な施設であり、市民の利用に支障をきたすことなく、安定的な火葬業務を提供していくことが求められており市民からの賛否の声もある中、市の単独整備に至った経緯理由について質問しました。

豊田市との協議 今後のスケジュールについて



Q: 市単独で火葬場を整備するに至った理由や検討内容はどのようなだったか。

A: 豊田市から、「火葬の事務委託を継続する意向はないこと、事務委託の廃止時期について、令和15年度末を限度として考えている」と具体的な時期が示された回答があった。文書照会により日進市及び東郷町も広域で火葬場を整備する意向がないことが確認されたこと。検討会からもみよし市単独での火葬場整備が提言されこと。これらを踏まえ、多死社会に対応し、古瀬間聖苑のひっ迫を避けるため、みよし市は単独で火葬場を整備する方針を決定しました。

ポイント

豊田市からの「火葬事務委託の継続意向がない事」や近隣市町は「広域での整備意向がない事」検討委員会からの「市単独整備」提言を受け単独整備の方針を決定しました。

ポイント

建設候補地の選定に着手。候補地域と協議し建設場所選定
その後基本構想・基本方針・計画(案)を作成します。



Q: 火葬場整備に関する今後の予定はどのようなか。

A: 令和7年度以降、建設候補地の選定に着手します。外部有識者を含めた候補地選定に関する委員会を設置し、候補地の提案をいただき、地域の皆さまとの協議等を行い、本市における建設場所を選定いたします。また火葬場整備基本構想・基本計画策定業務委託におきまして、火葬場整備に向けた基本方針を定め、本市の火葬場として必要な火葬炉数や機能を検討した上で敷地や建物等の施設規模を算定し、整備計画案を作成するとともに、最適な事業手法や整備スケジュール等を定めてまいります。

職場のハラスメント防止について

質問要旨 近年、首長や議員によるハラスメントも問題視されており、透明性と説明責任が求められています。規制は強化されていますが、実態把握や対応の遅れ、被害者が声を上げにくい現状などの課題があります。本市におけるハラスメント防止の取り組み状況と、更なる取り組みにより防止効果が得られるよう質問しました。



Q: みよし市職場におけるハラスメントの防止に関する条例を制定し対象に市長や副市長、教育長、議員を含める考えはどのようなか。

A: ハラスメント対策委員会は、部長級で構成されていることから、特別職、議員に対する調査や処分等を実施するのは困難であると思われます。特別職も含めた職場におけるハラスメントの防止について、他自治体の状況も参考にしながら制度の検討をしていきたいと考えております。

ポイント

首長等や議員のハラスメントの防止等に関して、単独条例を制定している自治体は和7年1月15日時点で制定されており全国で86団体の87条例が確認されています。本市にも条例制定を望みます

